

複写サービス契約書（案）

平成28年度全国高等学校総合体育大会広島市実行委員会（以下「発注者」という。）と株式会社（以下「受注者」という。）とは、複写サービスについて、次の条項により契約を締結する。

（総則）

第1条 受注者は、発注者に複写サービスを提供するに際し、適切な操作方法を指導するとともに、複写機が常時正常な状態で稼働し得るように保守を行い、複写機に必要な消耗品を円滑に供給するものとする。

（契約対象物件及び設置場所）

第2条 この契約の対象物件及び設置場所は、別表のとおりとする。

（契約期間）

第3条 契約期間は、平成28年3月1日から平成28年3月31日までとする。ただし、契約期間満了の日の20日前までに発注者から何ら意思表示がないときは、引き続き1年間更新するものとする。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、平成29年3月31日後、この契約は、更新しないものとする。

3 次条の規定により、発注者が受注者に支払うべき金額について、翌年度以降において発注者支出予算の当該金額について減額又は削除があった場合、発注者は当該契約を解除する。

（複写サービス料金）

第4条 複写サービス料金は、1箇月（月の初日から末日までをいう。）ごとに、別表の料金表の複写サービスの区分ごとに算出し（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額とする。）、それらの合計額とする。

2 受注者が複写機の保守に当たって、複写機の点検整備のために要した複写及び受注者の責めに帰すべき原因で生じた不良の複写については、その枚数は前項の複写サービス数量から除くものとする。

3 受注者は、毎月末日に発注者の職員の確認を受けて、第1項の複写サービス数量を確定する。

（複写サービス料金の請求）

第5条 受注者は、前条第1項の複写サービス料金に消費税及び地方消費税に相当する額を加算して金額を請求するものとする。

2 前項の消費税及び地方消費税に相当する額は、前条第1項の複写サービス料金から算出される消費税法及び地方税法に規定する消費税及び地方消費税の額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）とする。

（複写サービス料金の支払）

第6条 発注者は、受注者から前条による請求書を受領したときは、その日から起算して30日以内に支払うものとする。

（搬入及び搬出費用の請求）

第7条 発注者は、別表の搬入及び搬出費用表の区分のとおり、複写機の搬入及び搬出にかかる費用を複写サービス料金とは別に支払うものとする。

2 受注者は、前項の搬入及び搬出費用に消費税及び地方消費税に相当する額を加算して金額を請求するものとする。

(搬入及び搬出費用の支払)

第8条 発注者は、受注者から前条による請求書を受理したときは、その日から起算して30日以内に支払うものとする。

(複写機の保守)

第9条 受注者は、複写機を発注者が常時正常な状態で使用できるよう保守を行うものとする。

2 前項の保守を行うために、原則、受注者は月1回の定期点検及び整備を行わなければならない。ただし、点検及び整備の方法については発注者と受注者が協議のうえ別途定めることができる。

3 受注者は、複写機が故障した場合は、速やかに正常な状態に回復させなければならない。

4 受注者の作業の実施は、発注者の勤務時間内に行うものとする。ただし、やむを得ない事情により勤務時間外に作業を実施する場合は、発注者と受注者が協議のうえこれを行うものとする。

(複写機及び消耗品の所有権)

第10条 複写機及び消耗品の所有権は受注者に属し、発注者はそれらを善良なる管理者の注意義務をもって使用、管理しなければならない。

2 受注者は、複写機及び消耗品が受注者の所有であることを示す表示等を行わなければならない。

3 発注者は、複写機及び消耗品が受注者の所有であることを示す表示等をき損するなど、複写機の原状を変更するような行為及び消耗品を他に流用する行為をしてはならない。

(保険)

第11条 受注者は、受注者の費用で動産総合保険を付するものとする。

(損害賠償)

第12条 受注者は、発注者が故意又は重過失によって複写機に損害を与えた場合は、その賠償を発注者に対して請求することができる。

2 前項の場合において、動産総合保険でてん補された損害に対しては、前項の規定にかかわらず、受注者は発注者に請求しないものとする。

(機密の保持)

第13条 受注者は、保守の実施に当たって知り得た発注者の業務上の機密を外部に漏らし、又は他の目的に利用してはならない。契約期間の終了後又はこの契約を解除した後においてもまた同様とする。

2 契約期間終了による複写機の返還及び保守交換作業の過程で取り外したハードディスクにおいて、記録が残っているデータは、意味のないデータを上書きするなどにより安全に消去した上で、破棄等を行うこと。

(かし担保)

第14条 受注者は、受注者が発注者に貸し付けた複写機に隠れたかしがあったときは、自己の負担において必要な補修等を行い、又は同仕様の他の複写機と交換しなければならない。

(契約の解除)

第15条 発注者又は受注者は、相手方が正当な理由なくしてこの契約の条項に違反したときは、文書によって通告し、この契約を解除することができる。ただし、発注者は、30日前に文書によって受注者に通告した場合、発注者の都合において契約を解除することができる。

(複写機の返還)

第16条 発注者は、設置期間が満了したとき又は前条の規定によりこの契約を解除されたときは、複写機を速やかに返還するものとする。

(管轄裁判所)

第17条 この契約に関する訴えの管轄は、発注者の所在地を管轄区域とする広島地方裁判所とする。

(その他)

第18条 この契約に定めるもののほか、必要な事項については、発注者及び受注者が協議のうえ決定するものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、発注者と受注者が記名押印のうえ、各その1通を保有する。

平成28年 月 日

発注者 広島市中区国泰寺町一丁目4番21号

平成28年度全国高等学校総合体育大会広島市実行委員会

会長 尾形 完治

受注者

別表

契約対象物件及び設置場所

物件	機種及び型式	設置場所
フルカラー複合機		広島市中区大手町四丁目 4 番 4 号 平成 2 8 年度全国高等学校総合体育大会広島市実行委員会事務局の予定場所
モノカラー複合機		

料金表

1 フルカラー複合機

複 写 サ ー ビ ス の 区 分	金 額（税 抜 き）
フルカラー	1 枚につき 円
モノクロ	1 枚につき 円

2 モノカラー複合機

複 写 サ ー ビ の 区 分	金 額（税 抜 き）
モノクロ	1 枚につき 円

搬入及び搬出費用表

区 分	金 額（税 抜 き）
搬入費用	1 台につき 円
搬出費用	1 台につき 円